

面積流量計

金属テーパ管

EFシリーズ



金属テーパ管 面積流量計 EFF



特 徴

1. EFFシリーズ流量計は、金属テーパ管を使い指示部にガラス管を使用した、シンプルな構造でメンテナンスも容易な直示型面積流量計です。
2. 工業用水、上水、AIRなどの各種液体・気体の流量測定に対応できます。
3. 耐食性に応じた各種材質が選べ、耐久性にすぐれています。
4. 鉄鋼業種、ケミカル業種、薬液業種、上水、浄水業種など各業種の流量管理、流量計測に適しております。

仕 様

型 式	EFF
測 定 流 体	液 体 ・ 気 体
製 作 口 径	15A 20A 25A 40A 50A 65A 80A
測 定 範 囲	1 : 10 (10~100%) (測定レンジ)
精 度	± 5 % F.S.
材 質	(本体) SUS304 SUS316 (指示部) ガラス管
最 高 使 用 圧 力	各口径により異なります (別表参照)
使 用 温 度 範 囲	0~120 °C (連続使用) 100 °C
接 続 規 格	(標準) JIS10K FF フランジ (特殊) JPI 150Lb RF ANSI 150Lb RF
外 観 色	ステンレス素地 (塗装なし) その他塗装色 : オプション
オ プ シ ョ ン	気体ダンパ機構 / 指示部透明アクリル管

流量測定範囲

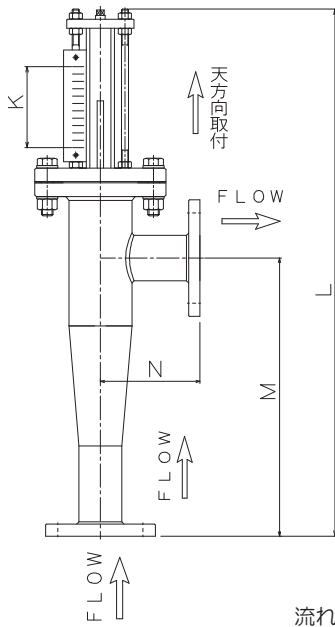
本書での圧力表示 MPa(G) kPa(G) は大気圧基準 (ゲージ圧) で表しております。

流 量	標準目盛	製作可能な測定範囲 (最大流量値)		最高使用圧力
	H ₂ O m ³ /h	H ₂ O m ³ /h	AIR m ³ /h (ntp)	MPa(G)
15A	0.1 ~ 1	0.6 ~ 2	15 ~ 25	1.0
20A	0.2 ~ 2	1 ~ 3	15 ~ 50	1.0
25A	0.4 ~ 4	1.5 ~ 5	15 ~ 90	1.0
40A	0.8 ~ 8	4 ~ 10	50 ~ 150	0.8
50A	1.5 ~ 15	8 ~ 20	100 ~ 400	0.8
65A	2.5 ~ 25	10 ~ 30	120 ~ 500	0.8
80A	3.5 ~ 35	15 ~ 45	150 ~ 700	0.8

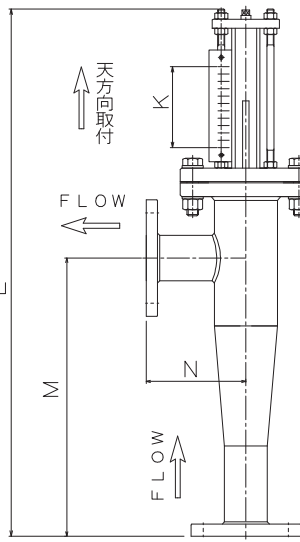
AIR の流量は20℃、1atm=0Pa(G) の操業状態を0℃、1atm=0Pa(G) の基準状態 (ntp) の体積流量単位で表示しています。標準目盛以外に製作可能な測定範囲 (最大流量値) を100%としてレンジ1 : 10を選択できます。上記流量以外の場合は、お問い合わせください。

寸法・構造・流れ方向 EFF

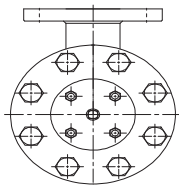
流れ方向記号：2 (標準)



流れ方向記号：2 (特殊)



流れ方向記号：2 (特殊)



後ろ方向

天方向から見て

目盛読み方向 ↑

寸法	目盛	EFF		
	K 約mm	M mm	N mm	L Max. mm
15A	70	220	80	460
20A	70	220	80	460
25A	70	250	100	500
40A	70	250	100	520
50A	70	270	100	550
65A	70	300	120	620
80A	70	320	150	630

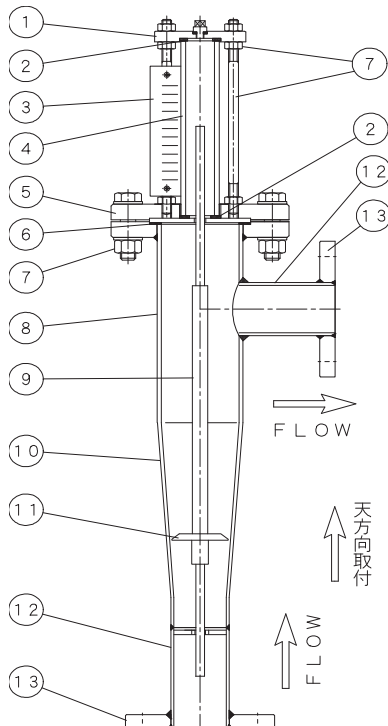
L寸法は最大 Max. を記載しておりますが仕様により異なる場合があります。

流れ方向と目盛板方向につきまして

流れ方向の右、左、背面、などとは目盛板を正面より見たときの出口管の方向を示しております。45° 方向以外では目盛板の取付位置が異なるのみで流量計の構造自体の相違はありません。

構造・材質

EFF 液体用、気体用 標準形式



NO.	部品名	材質記号：E	材質記号：H
①	ガラス押えフランジ	SUS304	SUS316
②	ガラスガスケット	EPDM	EPDM
③	目盛板	メタアクリル	メタアクリル
④	ガラス管	ガラス	ガラス
⑤	フランジ	SUS304	SUS316
⑥	ガスケット	EPDM	EPDM
⑦	ボルト/ナット	SUS304	SUS304
⑧	T字管	SUS304	SUS316
⑨	フロートロッド	SUS304	SUS316
⑩	テーバ管	SUS304	SUS316
⑪	フロート	SUS304	SUS316
⑫	出入り口管	SUS304	SUS316
⑬	取付フランジ	SUS304	SUS316

- EFF において PVC (塩ビ) 材質での製作はいたしません。
- ガスケット材質はその他 CR NBR シリコン などをご指定いただけます。
- 出口側流れ方向は製作時ご指定いただけます。(標準：右方向、左方向、後ろ方向 などをご指定ください。)
- 流体が気体の場合は付加1記号：H の気体タンバ機構が標準仕様となります。流体が液体では H は不要です。
- 型式記号：13桁で表せないオプション内容につきましては、別途コメントでご指定ください。

EFF 標準目盛分割

最大目盛	10	12	15	20	25	30	35	40	45	50	60	70	80	90	$\times 10^n$
1 目盛値	1	1	1	2	2	2	2	2	2	5	5	5	5	10	

流量測定範囲（2ページ）のmin. ～ max. の範囲より標準目盛分割の最大目盛を決めて

流量範囲 1 : 10（10～100%）を設定してください。 最大目盛値 $\times 10^n$ $n=0$ 又は整数（nの範囲）

例1 最大流量 4 m³/h の場合 0.4 ～ 4 m³/h

例2 最大流量 15 m³/h の場合 1.5 ～ 15 m³/h

例3 最大流量 30 m³/h の場合 3 ～ 30 m³/h

流量単位 L/h L/min m³/h m³/min など指定できますが、標準目盛分割は同様扱いとなります。

上記、標準目盛分割の最大目盛は日本工業規格 JIS B 7551:1999 フロート形面積流量計 実流量目盛の最大値 によります。

工業用水 面積流量計 EKF



特 徴

1. EKFシリーズは工業用水などの流量測定をする金属テーバ管を使用した液体専用面積流量計です。
2. 流量計内部は流体の付着・堆積を防ぐ構造になっております。
3. エアーチャンバーの採用により、指示部ガラス管内に液が上がりにくい構造になっておりますので、不透明流体の測定に適しております。
冬期の液凍結によるガラス管破損をも防止しております。
4. 流量指示部はガラス管、その他主要部材質は金属製ですので、堅牢で屋外配管にも適用でき、的確な流量管理が可能です。

仕 様

型 式	EKF
測 定 流 体	液 体
製 作 口 径	15A 20A 25A 40A 50A 65A 80A
測 定 範 囲	1 : 10 (10~100%) (測定レンジ)
精 度	± 5 % FS
材 質	(本体) SUS304 SUS316 (指示部) ガラス管
最 高 使 用 圧 力	各口径により異なります (別表参照)
使 用 温 度 範 囲	0~120℃ (連続使用) 100℃
接 続 規 格	(標準) JIS10K FF フランジ (特殊) JPI 150Lb RF ANSI 150Lb RF
外 観 色	ステンレス素地 (塗装なし) その他塗装色 : オプション
オ プ シ ョ ン	指示部透明アクリル管

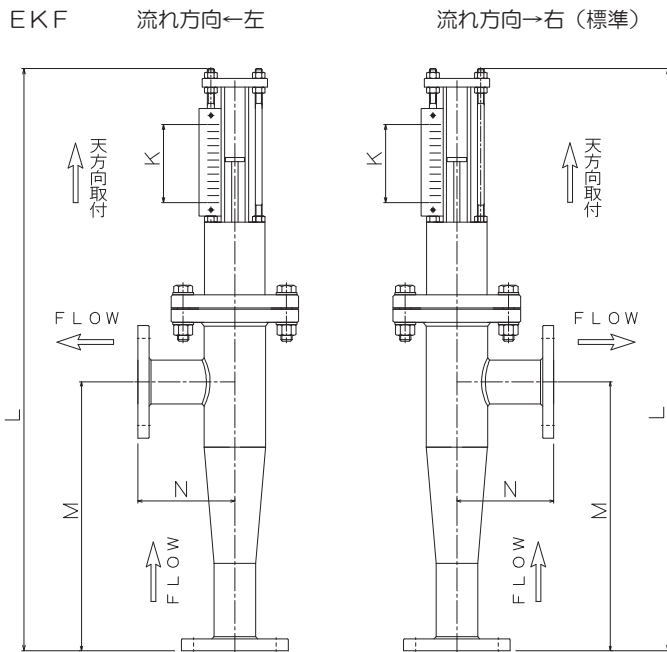
流量測定範囲

本書での圧力表示 MPa(G) kPa(G) は大気圧基準 (ゲージ圧) で表しております。

流 量	標準目盛	製作可能な測定範囲 (最大流量値)	最高使用圧力
	H ₂ O m ³ /h	H ₂ O m ³ /h	MPa(G)
15A	0.1 ~ 1	0.6 ~ 2	1.0
20A	0.2 ~ 2	1 ~ 3	1.0
25A	0.4 ~ 4	1.5 ~ 5	1.0
40A	0.8 ~ 8	4 ~ 10	0.8
50A	1.5 ~ 15	8 ~ 20	0.8
65A	2.5 ~ 25	10 ~ 30	0.8
80A	3.5 ~ 35	15 ~ 45	0.8

標準目盛以外に製作可能な測定範囲 (最大流量値) を100%としてレンジ1 : 10を選択できます。上記流量以外の場合は、お問い合わせください。

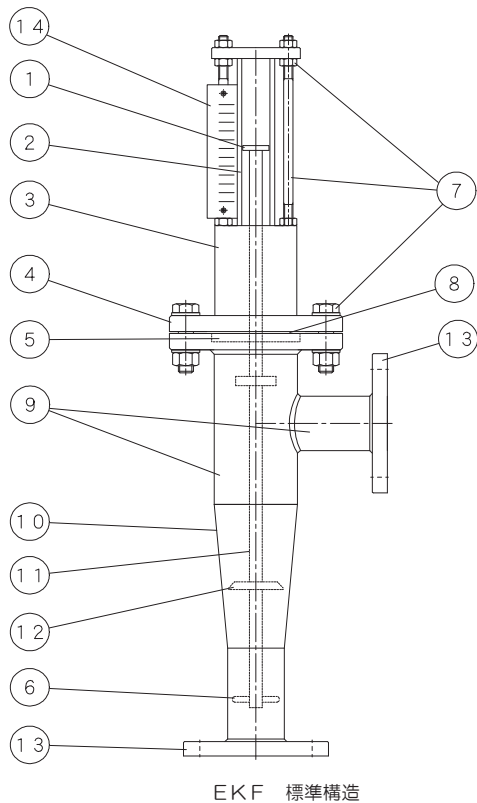
寸法・構造 EKF



寸法	目盛	EKF		
	K 約mm	M mm	N mm	L Max mm
15A	70	300	80	700
20A	70	300	80	700
25A	70	300	100	700
40A	70	300	100	720
50A	70	350	100	810
65A	70	350	120	850
80A	70	350	150	870

寸法は最大 Max. を記載しておりますが仕様により異なる場合があります。

構造・材質 EKF



EKF 標準構造

NO.	部品名	材質記号：E	材質記号：H
①	指 標	SUS304	SUS316
②	ガラス管	ガラス	ガラス
③	チャンバー	SUS304	SUS316
④	フランジ	SUS304	SUS316
⑤	セパレータ	SUS304	SUS316
⑥	ガイド	SUS304	SUS316
⑦	ボルト/ナット	SUS304	SUS304
⑧	ガスケット	EPDM	EPDM
⑨	T字管	SUS304	SUS316
⑩	テーバ管	SUS304	SUS316
⑪	フロートロッド	SUS304	SUS316
⑫	フロート	SUS304	SUS316
⑬	取付フランジ	SUS304	SUS316
⑭	目盛板	メタアクリル	メタアクリル

1. ガスケット材質はその他 CR NBR シリコン などをご指定いただけます。
2. 出口側流れ方向は製作時ご指定いただけます。3ページ EFF を参照ください。
(標準：右方向、左方向、背面方向 などをご指定ください。)
3. 型式記号：13桁で表せないオプション内容につきましては、別途コメントでご指定ください。

EKF 標準目盛分割

最大目盛	10	12	15	20	25	30	35	40	45	50	60	70	80	90	×10 ⁿ
1目盛値	1	1	1	2	2	2	2	2	2	5	5	5	5	10	

流量測定範囲（6ページ）のmin. ～ max. の範囲より標準目盛分割の最大目盛を決めて

流量範囲 1 : 10（10～100%）を設定してください。 最大目盛値 × 10ⁿ n=0 又は整数（nの範囲）

例1 最大流量 4 m³/h の場合 0.4 ～ 4 m³/h

例2 最大流量 15 m³/h の場合 1.5 ～ 15 m³/h

例3 最大流量 30 m³/h の場合 3 ～ 30 m³/h

流量単位 L/h L/min m³/h m³/min など指定できますが、標準目盛分割は同様扱いとなります。

上記、標準目盛分割の最大目盛は日本工業規格 JIS B 7551:1999 フロート形面積流量計 実流量目盛の最大値 によります。

- EKFは排水流量に適用しておりますが、多量に異物が混入した流体には対応しておりません。
糸くず、繊維状異物、などを流すと流量計内部のフロート、フロートロッド、ガイドなどに絡まって作動不良を起こすことがあります。
また、多量のスラッジ、固形物、汚泥水、ヘドロ状液体を流すと作動不良、詰まりなどの発生を起こす場合があります。
このような、流体を流さないでください。
- EKFは通常使用ではチャンバーの機能によりガラス管内に液体が上がりにくい構造となっておりますが、圧力変動、流量変動などご使用状況によってはガラス管内に液体が上がってくる場合があります、あらかじめご了承ください。

面積流量計の構造と作動原理

上向きの傾斜をもつ測定管（通常テーバ管と称する）内に自由に昇降できるフロートを収め、それを適当な支持具で組立てたものが面積流量計です。

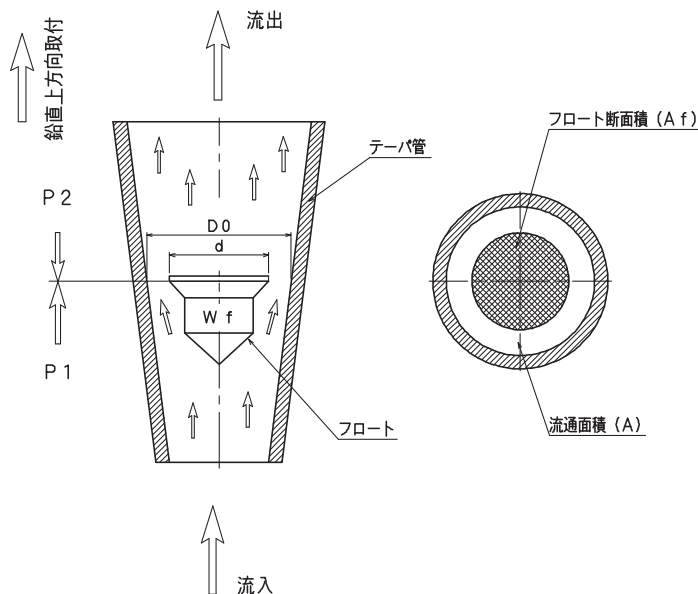
これに下方より上方へ流体（液体、気体）を流すとフロートはその前後に生ずる圧力差による力のために上へ押し上げられますが、フロートが上方へ移動するにつれてフロートとテーバ管との流通面積が増加するので、そこを通過する流体の速度が減り圧力差が減少してフロートはその有効重量と圧力差による力との均衡した位置で静止します。

この時のテーバ管内のフロートの位置によって決まる流通面積と通過する流量とは一定関係にあるので、その位置を検出して流量を測定することができます。

流通面積と流量の関係式は次のように表されます。

$$Q = CA \sqrt{\frac{2gV_f}{A_f} \times \left(\frac{\rho_f - \rho_0}{\rho_0} \right)}$$

面積流量計作動原理図



- Q : 流体の体積流量
- C : 流出係数
- A : 流通面積
- g : 重力の加速度
- Af : フロートの最大径部断面積
- Vf : フロートの体積
- ρ_f : フロートの等価密度 (=Wf / Vf)
- ρ_0 : 測定状態における流体の密度
- Wf : フロートの有効重量

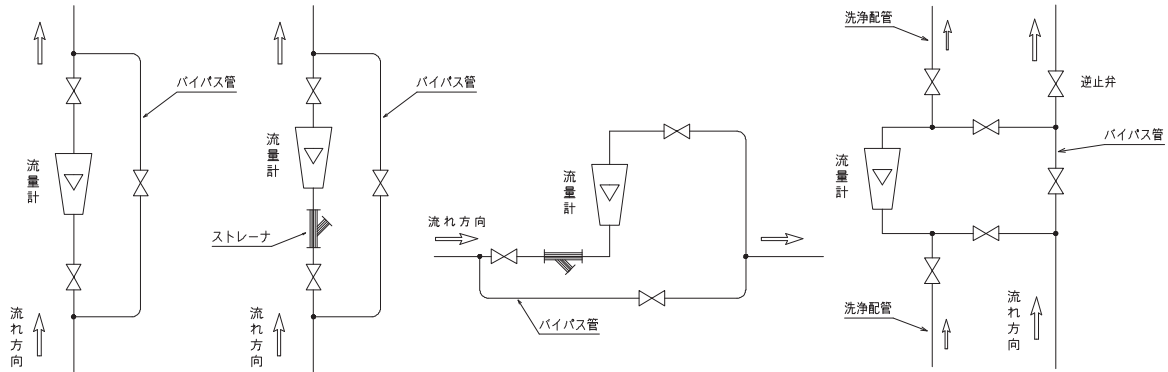
即ち、流出係数Cが一定のとき流量の変化と流通面積との関係は $Q \propto A$ と一次式で表されます。従ってテーバ管の昇程と流量との関係はテーバ管の傾斜度、流出係数を考慮し、ほぼ均等に近い曲線として得られます。本型式の流量計は上記のように流通面積が変化することから面積流量計とも呼ばれJIS規格の呼称はフロート形面積流量計となっております。

日本工業規格 JIS B 7551:1999 フロート形面積流量計

流量計の取付及び操作

1. 取付方法

- 1-1 振動の少ない場所を選び、テーパ管の中心軸が鉛直になるように取付けて下さい。
テーパ管の中心軸が傾斜してありますと、フロート軸に摩擦抵抗が生じて指示流量に流量誤差を生ずる原因となります。
- 1-2 取付けには可動部その他の部分の点検、修理又は交換に必要な空間を設けて下さい。又これらの管路の流れを止めずに行なう必要がある場合には、あらかじめバイパス管路を設けておいて下さい。（バイパス配管例を下図に示します）



- 1-3 テーパ管を使用している流量計を取付ける場合、配管に生ずる応力がテーパ管に伝わらないように流量計に接続する配管を確実に固定して下さい。テーパ管を使用する流量計に限らず流量計の自重が重い場合には配管が、たわまないような適当な支持具を設けて下さい。配管応力が大きい場合は流量計内部部品の作動不良が発生して流量測定が不能になる場合があります。
- 1-4 逆流及び水撃作用がある場合には下流側に逆止弁を設け、又必要に応じて上流側にストレーナを設置願います。
- 1-5 面積流量計はオリフィスと異なり、直管部を口径の10~15倍設けることは原則的に必要ありませんが、バルブ等の取付けは必ず2~3Dの直管部を設けて下さい。一般的にはバルブは出口側に設けることが望ましいが、特にガス体の場合には流量計の入口側と出口側に設けて下さい。
- 1-6 流量計取付ガスケットは配管内径より小さくなりますと、流量誤差が生ずることがありますので特にご注意下さい。
- 1-7 管路に取付けたまま流量計の内部を洗浄することのある場合は、必要に応じ洗浄管を設けて下さい。

2. 測定及び操作

- 2-1 バルブを開いて流量計内に流体を徐々に流し、管路及び流量計内の異物を抜き取り、指示が安定してから測定を開始して下さい。バルブはゆるやかに開閉し流量の調整は流量計の出口側で行って下さい。電磁弁を使用すると急激な流量変化により流量計にダメージを与える場合がありますので、電磁弁の利用は極力避けてください。
- 2-2 急激なバルブ操作をしないように注意して下さい。また、最高使用圧力・最高使用温度、各限界を超えて使用しますと流量計が破損して人体に危害が及ぼす恐れがありますので注意して下さい。
- 2-3 本流量計はテーパ管とフロートをを用いた構造上、流体を逆方向へ流すことはできません。逆洗浄はできませんのでご注意ください。
- 2-4 テーパ管及び出入り口部分、内部などが汚れた場合は必要に応じて掃除して下さい。
- 2-5 設計仕様（流体密度・粘度・圧力・温度）と異なる状態で流量測定を行う場合には指示値を補正する必要があります。
- 2-6 流量指示部の指示管はガラス管となっていますので、ガラス管が破損しないよう取り扱いってください。
- 2-7 屋外、屋内での使用において、全ての環境に対応するものではありません。高温、低温、凍結、結露、湿度、粉塵、降雨、暴雨など、またはそれら条件が複合されるような、使用環境が厳しい場所での使用をお考えの場合は弊社へ事前にご相談ください。



使用圧力
使用温度

規定の最高使用圧力、最高使用温度の限度を超えて使用するとガラス管が破損し人体に危害が加わるおそれがあります。最高使用限度を超えての使用はしないでください。



ガラス破損

外部からの衝撃、運搬時落下破損などでガラス管が割れた場合は割れたガラス破片で人体に危害が加わるおそれがあります。ガラス管を割らないよう、流量計の取り扱いには注意してください。



電磁弁使用による破損注意

運転開始時に電磁弁を使用した場合、急激な流量増大による衝撃により流量計内部部品に過大な力が加わり内部部品破損、ガラス管破損が生じる場合があります。特に流量計2次側が開放されている時に電磁弁を使用して運転を開始すると急激な流れにより流量計内部のフロート、フロートロッドが衝撃的に上昇してガラス管が割れたり、流量計を破損する場合も発生します。このような運転はおこなわないで下さい。



凍結破損注意

冬期など液体が凍結すると液体凍結膨張によりガラス管が破損する場合がありますので凍結の可能性が予想される場合はガラス管部の保温をするなどの処置をしてください。



水撃による破損注意

水撃（ウォーターハンマ）が起きると流量計内部部品に過大な力が加わり、内部部品破損、ガラス管破損が生じる場合があります。急激な流量増大になるような運転は行わないでください。

製品ご使用にあたってのお願い

- 本書でご案内する製品は、一般産業機器（各種プロセス制御、製造ライン流体制御施設）のシステムに使用される事を意図して設計、製造されたものです。
人命に直接かかわるような状況の下で使用される機器やその機器の含まれているシステムに用いられることを目的として設計、製造されたものではありません。
この製品をそれらの用途にご使用する計画がある場合は、事前に営業窓口にご相談ください。
- 本書でご案内する製品は、厳重な品質管理のもとに製造しておりますが部品の故障などにより人命にかかわるような設備や重大な影響が予想される設備への適用に際してはシステムの運用・維持・管理に関して安全なシステムを構築するための特別な配慮を施工してください。
- 製品において電源を必要とする型式においては、電気工事・据付工事などが必要です。
お買い上げの販売店や専門施工業者、当社販売担当にご相談ください。
工事に不備があると製品の性能が発揮できない場合や、感電や火災の原因になります。
- 面積流量計の構造上、使用状況によっては摺動部品（ガイド、ストッパ、フロート、フロートガイド）などの表面が摩耗し、摺れ痕、キズが付くことがあります但し予めご了承ください。
- 面積流量計を分解することはなさないでください。点検の必要がある場合は弊社へお問い合わせください。
- 製品をご使用の前には、関連の取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

用途制限

以下のような人命に直接関わる安全性を要求されるシステムに適用する目的で製造されたものではありません。

- 人命の安全維持を目的とした保護系システム。
- 人命維持に関わる医療制御システム。

免責事項

以下のような損害に関しては当社は免責されるものとさせていただきます。

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害。（事業利益の損失、事業の中断など含む）

製品お引き合いの場合は下記仕様をご連絡ください。

- 型式記号・流体名・流量範囲・流量単位・密度・粘度・温度・圧力・台数

記載内容は製品改良のため予告なく変更することがあります、あらかじめご了承ください。



流体工業株式会社

本 社 東京都千代田区神田司町 2-2-2 大森ビル
〒101-0048
TEL 03(5298)1301
FAX 03(5298)1520

大阪営業所 大阪市中央区瓦町 2-3-10 瓦町中央ビル
〒541-0048
TEL 06(6121)6234
FAX 06(6121)6235

URL <https://www.ryutai.co.jp/>